

## 数値目標の根拠（第2期）

### ○住宅の耐震化率

住宅戸数 304 戸

新耐震基準で建築された昭和 56 年以降の住宅 126 戸（41.5%）

昭和 55 年以前に建築された住宅 178 戸（58.5%）

耐震化率 現状 41.5% → 目標 50%

### ○無電柱化延長

現状 0→1km （町中国道 153 号沿い、設楽根羽線上町地区）

### ○耐震性貯水槽

現状 3 基（役場、なごみ、榊）→5 基（旧役場駐車場+α）

### ○想定最大規模降雨での浸水想定区域図の作成 0 箇所→3 箇所（平瀬橋付近、松下栄樹、小桁 藤城幸蔵・藤城孝弘）

### ○砂防事業による施設整備

現状 1 井沢完成 → 目標 3 箇所（森沢+α）

### ○急傾斜地放火対策事業による整備

現状 1（田島実施中） → 目標 2 箇所（α）

### ○土砂災害から保全される人家戸数 32 戸→69 戸

### ○災害時住民支えあいマップ等の作成 100%

### ○村道橋梁補強の整備率 24%→48%

### ○村道斜面等の要対策箇所の対策率 25%（推計）→ 35%

### ○災害対策用ヘリポートの整備 1 箇所 → 2 箇所

### ○消防団員数 50 名 → 50 名

### ○自主防災組織の再編と防災力の強化 23 地区 → 23 地区

### ○給油施設への非常用発電設備設置への助成 0% → 100%

### ○医療器具の整備充実 55%（推計）→ 80%

○根羽村役場BCP計画の策定 0% → 100%

○土砂災害特別警戒区域内の避難所に対する土砂災害対策着手数 1施設 → 3施設  
(根羽学園体育館着手中、トレーニングセンター、GH森沢)

○役場庁舎の自然エネルギーを利用した非常用電源設備の確保 20% (推計) → 50%

○移動系無線施設のデジタル化 0% → 100%

○村内での県内ラジオ放送の受信 0% → 100%

○エネルギー消費量で見るエネルギー自給率 5% (推計) → 15%

○上水道施設のBCP策定 0% → 100%

○上水道の重要給水施設への管路の耐震化 4.9% → 30%

○配水池等の耐震化と整備 0% → 10%

○污水处理施設等のBCP策定 0% → 100%

○重要な下水管渠の地震対策実施率 0% → 10%

○橋梁の耐震補強の整備率 24% → 48% (目標5橋)

修繕対象橋梁数 82橋

診断結果 I (健全) 24橋・II (予防保全) 37橋・III (早期措置段階) 20橋・IV (緊急措置段階) 1橋

数値換算はIII・IVの21橋とする。

R6までの整備済5橋

○道路斜面等の要対策箇所の対策率 25% (推計) → 35%

○緊急輸送路を補完する基幹的農林道の開設 目標2.4km (洞中線、新井小栃線)

R2~R6開設延長 新井小栃線616m+洞中線761m=1,377m

○緊急輸送路を補完する基幹的農林道の改良等 目標4.9km (本洞線、外山高橋線)

R2~R6改良舗装延長 本洞線2,227m+外山高橋線1,624m=3,851m

○個別企業へのBCP策定支援 0事業所 → 2事業所 (GSエレクトック、マルイ)

○5年に一度の橋梁点検の実施 目標 三順目

○除雪車の整備 3台 → 4台

○融雪剤散布車の整備 0台 → 1台

○農業用水路の整備箇所 完了 カブラセ水路 → 目標2箇所(α)

○民有林の主伐再造林面積(森林組合R7総会資料) 7.6ha → 10ha

○民有林の間伐面積 40ha → 40ha

○民有林の木材搬出量 5,085m<sup>3</sup> → 6,000m<sup>3</sup>

○森林空間利用森林の整備 0箇所 → 3箇所(赤坂、安城水源の森、その他)

○避難所用簡易トイレの確保 0基 → 10基

○災害廃棄物処理計画の策定率 0% → 100%

○自主防災組織率 100%